

2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月13日

上場会社名 日本ビジネスシステムズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5036 URL https://www.jbs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧田 幸弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 CFO (氏名) 勝田 耕平 TEL 03 (6778) 7336
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	167,867	27.1	6,892	15.3	6,845	17.7	5,398	35.9
2025年9月期第3四半期	132,110	24.5	5,977	73.6	5,815	67.7	3,972	688.3
(注) 包括利益	2026年9月期第3四半期		5,550百万円 (37.8%)		2025年9月期第3四半期		4,026百万円 (607.7%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	119.80	114.67
2025年9月期第3四半期	87.12	83.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
2026年9月期第3四半期	101,617	28,823	28.2	
2025年9月期	74,467	27,244	36.4	
(参考) 自己資本	2026年9月期第3四半期	28,682百万円	2025年9月期	27,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	17.00	—	23.00	40.00
2026年9月期	—	22.00	—		
2026年9月期（予想）				28.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年9月期期末配当の内訳 1株当たり23円00銭（普通配当 18円00銭 東証プライム市場変更記念配当 5円00銭）

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	216,500	25.4	9,100	19.8	9,000	22.1	7,000	24.3	155.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	48,366,400株	2025年9月期	48,366,400株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	3,248,885株	2025年9月期	2,770,595株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	45,064,748株	2025年9月期3Q	45,592,944株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当四半期の決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年10月1日～2026年6月30日）における国内経済は、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果により景気は緩やかな回復傾向にある一方で、物価上昇の継続や金融資本市場の変動、海外経済の不確実性の影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、国内IT市場においては、幅広い業種にわたり、各企業のデジタル変革（DX）に対する投資意欲は引き続き旺盛で、生産性向上、競争力強化やコスト削減を目的としたIT投資需要が活況に推移しており、今後ますます様々な分野でクラウド技術やクラウドサービスの活用が進んでいくことが期待されています。

MicrosoftやAWSといったクラウド製品を提供するハイパースケーラー企業の世界的な事業展開、生成AIの登場により、IT市場はオンプレミス等のトラディショナルサービスから、デジタルテクノロジーサービス・ビジネスサービスへと大幅にシフトしています。国内IT市場においてもクラウド市場の成長率は全体の成長率を大きく上回り成長を持続しています。当社グループが中核としていたマイクロソフトクラウド製品も、アプリケーション分野/インフラ分野においてマーケットシェアの高い製品群を有しており、IaaS市場ではAWSと並ぶトップシェアとなっています。また、お客様においては、Covid-19後のリモートワーク対応に端を発し、インフラを中心としたクラウドシフトが進んで参りました。生成AI登場後は、本格的なDX需要として情報システム領域だけでなく顧客特有のビジネスIT領域におけるクラウド活用・AI活用ニーズが増加しています。また、情報システム領域においても、サイロ化したクラウド環境の全体最適化やサイバーセキュリティ対応が求められています。

これらの需要に対し、当社グループはマイクロソフトクラウドを中核にコミュニケーションインフラ領域に強みを持つクラウドインテグレーターとして成長して参りました。今後は、マルチクラウド・セキュリティ対応を始めとしたインフラ領域におけるモダナイズーションに加え、お客様の中期的な経営課題に資するビジネスIT領域・AI領域・グローバル領域における事業拡大を図り、クラウド時代におけるお客様のIT課題をワンストップで解決するクラウドインテグレーターとしてさらなる成長を目指してまいります。

このような方針のもと、ビジネスIT領域においては、基幹業務システム導入を中心としたビジネスソリューションの設計・開発・運用に特化したSureBizCloud株式会社を新たに立ち上げ、より専門性をもった顧客支援を進めております。AI領域においては、大手PCメーカーの製品に当社オリジナルのAI学習コンテンツを標準搭載するなど、ユーザーのAI利用定着化支援に取り組んでおります。グローバル領域においては、顧客企業の海外拠点を含めた包括的な運用支援や物販の提供など、グローバルでの包括支援ニーズに対応しております。さらに、戦略的エコパートナーとの連携拡大を通じたマルチベンダー体制の強化に取り組んでおり、アバナード社やVaronis社等とのパートナーシップを通じたAI時代のセキュリティ支援の強化や、AppleのパートナープログラムにおけるApple Premium Technical Partnerの認定を通じたエンタープライズ向けのMac導入から運用・保守までのワンストップサービスの展開等を推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は167,867百万円（前年同期比27.1%増）、営業利益は6,892百万円（同15.3%増）、経常利益は6,845百万円（同17.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,398百万円（同35.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績（売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は次の通りであります。

（クラウドインテグレーション事業）

当第3四半期連結累計期間は、大手顧客を中心に継続的なリレーションシップにより案件が拡大し、内製化支援に関わる案件、本格的なAI活用に向けたインフラ支援及びグローバル案件などの獲得が進んだ結果、売上高は23,203百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は4,148百万円（同10.0%増）となりました。

（クラウドサービス事業）

当第3四半期連結累計期間は、顧客企業におけるAI活用等を通じた効率化推進のニーズが拡大する中、クラウド利活用推進に伴う案件の増加に加え、運用支援ゼロトラストにおける運用監視支援及びグローバルでの包括的な運用支援の拡大により、売上高は17,505百万円（前年同期比9.2%増）、セグメント利益は2,972百万円（同28.4%増）となりました。

(ライセンス&プロダクツ事業)

当第3四半期連結累計期間は、大手顧客のデジタル投資とAI活用を前提としたインフラ構築ニーズが高まる中、物販におけるソフトウェア関連の大口取引や教育及び公共分野におけるハードウェア需要が好調に推移したことに加え、マイクロソフトライセンス販売においては、既存顧客のクラウド活用進展とともに、新規顧客の開拓が進んだことにより、売上高は127,151百万円（前年同期比33.1%増）、セグメント利益は2,799百万円（同9.3%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べて27,679百万円増加し、66,995百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が26,401百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べて529百万円減少し、34,621百万円となりました。これは主に、有形固定資産が907百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べて27,149百万円増加し、101,617百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べて26,127百万円増加し、58,184百万円となりました。これは主に、買掛金が24,573百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べて556百万円減少し、14,609百万円となりました。これは主に、長期借入金が740百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べて25,570百万円増加し、72,793百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べて1,578百万円増加し、28,823百万円となりました。これは主に、利益剰余金が3,253百万円、自己株式が1,296百万円増加した一方で、資本剰余金が529百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は28.2%（前連結会計年度末は36.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想については、2026年5月12日に「2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。なお、業績予想は、現在入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,939	5,231
受取手形、売掛金及び契約資産	27,396	53,798
棚卸資産	609	1,604
その他	8,583	6,568
貸倒引当金	△212	△206
流動資産合計	39,316	66,995
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	14,189	13,320
土地	12,506	12,068
その他（純額）	1,392	1,791
有形固定資産合計	28,088	27,180
無形固定資産		
その他	260	246
無形固定資産合計	260	246
投資その他の資産		
その他	6,802	7,201
貸倒引当金	△0	△7
投資その他の資産合計	6,801	7,194
固定資産合計	35,150	34,621
資産合計	74,467	101,617

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,030	33,604
短期借入金	8,800	11,890
1年内返済予定の長期借入金	2,332	2,317
未払法人税等	1,299	907
賞与引当金	1,994	1,073
株主優待引当金	41	19
受注損失引当金	346	53
その他	8,212	8,318
流動負債合計	32,056	58,184
固定負債		
長期借入金	12,553	11,813
役員退職慰労引当金	416	442
修繕引当金	272	335
株式報酬引当金	—	92
資産除去債務	1,867	1,881
その他	56	44
固定負債合計	15,166	14,609
負債合計	47,222	72,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	539	539
資本剰余金	11,879	11,350
利益剰余金	17,863	21,116
自己株式	△3,464	△4,760
自己株式申込証拠金	—	0
株主資本合計	26,818	28,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	437
その他の包括利益累計額合計	318	437
新株予約権	0	0
非支配株主持分	107	139
純資産合計	27,244	28,823
負債純資産合計	74,467	101,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年10月1日 至2026年6月30日)
売上高	132,110	167,867
売上原価	118,520	152,158
売上総利益	13,590	15,709
販売費及び一般管理費	7,613	8,817
営業利益	5,977	6,892
営業外収益		
持分法による投資利益	19	77
為替差益	—	72
その他	87	70
営業外収益合計	107	220
営業外費用		
支払利息	118	194
支払手数料	80	47
その他	69	24
営業外費用合計	268	267
経常利益	5,815	6,845
特別利益		
固定資産売却益	—	452
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	0	452
特別損失		
関係会社株式評価損	—	68
固定資産除却損	9	1
ゴルフ会員権評価損	2	—
その他	0	—
特別損失合計	12	69
税金等調整前四半期純利益	5,802	7,228
法人税等合計	1,830	1,796
四半期純利益	3,972	5,431
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,972	5,398

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年10月1日 至2026年6月30日)
四半期純利益	3,972	5,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	118
その他の包括利益合計	54	118
四半期包括利益	4,026	5,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,026	5,517
非支配株主に係る四半期包括利益	—	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クラウド インテグレ ーション	クラウド サービス	ライセンス &プロダク ツ	計			
売上高							
外部顧客への売上高	20,561	16,029	95,512	132,102	8	—	132,110
セグメント間の内部売上高又は振替高	17	—	29	46	—	△46	—
計	20,578	16,029	95,541	132,148	8	△46	132,110
セグメント利益	3,771	2,314	2,561	8,647	4	△2,674	5,977

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,674百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,686百万円、セグメント間取引消去12百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クラウド インテグレ ーション	クラウド サービス	ライセンス &プロダク ツ	計			
売上高							
外部顧客への売上高	23,203	17,505	127,151	167,860	6	—	167,867
セグメント間の内部売上高又は振替高	122	0	43	165	—	△165	—
計	23,325	17,505	127,194	168,026	6	△165	167,867
セグメント利益	4,148	2,972	2,799	9,920	0	△3,028	6,892

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,028百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,160百万円、セグメント間取引消去131百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	854百万円	862百万円